

給食時間における食に関する指導（小学校 第1学年）

題材名	今月の地場産物（ヤングコーン）	
目標	地場産物「ヤングコーン」を知り，地域についての理解を深める。	
食育の視点	食文化	ヤングコーンが地域で作られた食べものであることがわかる。
指導計画	事前：学級活動(2)「すききらいしないで」…ヤングコーンの皮をむく作業を行う。	
題材について	<p>地場産物を学校給食の食材に使用することは，食べものの旬や地域の特色を伝える等，学校給食を教材とする一つの方法であり，学級活動(2)や生活科，社会科，総合的な学習などとも関連させることができる。</p> <p>本指導は学級活動(2)「すききらいしないで」として，給食（八宝菜）に使うヤングコーンをむく作業を行い，それを実際に食べることで，すききらいせずに給食を食べることについて，実践化につなげることを目的とした学習の事後指導として実施する。なお，1年生の児童が給食づくりに関わったことを全校で紹介することで，給食（地場産物）に興味を持ち，しっかり味わおうとする態度を育てることもつなげることができる。</p>	

指導の流れ ※児童の実態により，チーム・ティーチングで指導してもよい。

	活動内容	指導上の留意点	準備物
導入	1 今日の給食献立を確認する。	○事前学習を思い出させ，給食献立に注目させる。 ○料理の中にあるヤングコーンを見つけさせる。	・ヤングコーン（実物又は写真）
展開	2 地域の食材について紹介する。 3 地産地消について知る。	○トウモロコシとヤングコーンの違いや，地域で獲れたものであることを紹介する。 ○ヤングコーン以外の，給食に使っている地域の食材を紹介し，地産地消について触れる。	・地域の畑や農家の方の写真
まとめ	4 八宝菜を味わって食べる。	○様子を見て，どうしても食べにくい児童には無理をさせない。	・当日の給食

評価	地場産物が給食に使われていることを知り，給食をすすんで食べようとしているか。
----	--

放送内容 (全校)	<p>今日は八宝菜です。今日の八宝菜にはヤングコーンという野菜が入っています。ヤングコーンはトウモロコシの赤ちゃんなので，トウモロコシのように粒や芯があるのですが分かりますか？まだ柔らかいので，芯まで丸ごと食べることができます。</p> <p>今日のヤングコーンは〇〇地域の〇〇さんが育ててくださったものです。甘くておいしいコーンを作るために，1本につける実の数を決め，それ以外はつんでしまうそうです。そのつまれたコーンがヤングコーンです。ヤングコーンはゆでて缶詰やビン詰にしたものが年中出回っていますが，今日は摘んですぐの生のものを使っています。</p> <p>このヤングコーンは，実は，昨日，1年生が全校で使う量を全部むいてくれました。柔らかいので爪で傷つけないように，丁寧に作業してくれています。しっかり味わって食べてください。</p>
--------------	---